

MINNESOTA 有給休暇

2026年1月1日発効

Minnesotaの有給休暇制度では、自分自身や家族の世話をするために休暇が必要な場合に、給与の支払いと雇用の保護が提供されます。

有給休暇は何に使えますか。

医療休暇

- 妊娠、出産、回復に関連するケアを含む、自分自身の深刻な健康状態をケアすることです。

家族の休暇

- 絆休暇-出産、養子縁組、里親委託によって迎えた新しい子供を育て絆を深める休暇です。
- 介護休暇-重篤な健康状態にある家族の介護のためです。
- 軍人家族休暇-軍役任務に召集された家族を支援するためです。
- 安全休暇-自分自身または家族にたいする家庭内暴力、性的暴行、スターカー行為に関連する問題に対応するためです。

通常、症状は7日以上続く必要があり、医療従事者またはその他の専門家によって認定される必要があります。

有給休暇は取得できますか。

Minnesotaの労働者のほとんどは有給休暇の対象となります。雇用主の規模や勤務時間、勤務日数に関係なく補償されます。独立請負者や自営業者は自動的にカバーされませんが、加入を選択できます。過去年間にMinnesotaで仕事に対して最低額の報酬を受け取った場合（2026年有給休暇開始時には3,900ドル）は、給付金の対象となる場合があります。

どれくらいの期間休暇を取ることができますか。

給付年度ごとに最大12週間の家族休暇または医療休暇を取得資格があります。同じ休暇年度内に家族休暇と医療休暇の両方が必要な場合は、合計で20週間の休暇を取得できる場合があります。

もっと詳しく知る: paidleave.mn.gov

いくら支払われるのでしょうか。

有給休暇をしようすると、州から支払いが行われます。有給休暇では、収入レベルに基づいて賃金の最大90%が支払われ、週の最大額は州の平均週賃金に設定されます。この金額は毎年変わり、2026年の有給休暇開始には1,423ドルになります。

有給休暇の費用は誰が負担しますか。

有給休暇は従業員と雇用主が払う保険料によって賄われます。当初の保険料率は対象賃金の0.88%です。雇用主は保険料の負担分として最大で賃金の0.44%を控除することができます。

私の雇用保護は何ですか。

- 雇用保護: 通常、休暇から復帰するさいには元の職務または同等の職位に復帰する必要があります。雇用保護は雇用日から90日間後に発行します。
- 健康保険の継続: 一般的に、授業員が休暇中でも、雇用主は医療保険料の一部を支払い続ける必要があります。
- 報復や干渉の禁止: 授業員が有給休暇を申請したり使用したりする場合、雇用主は授業員に対して干渉したり報復したりしてはなりません。雇用主は有給休暇の支払いを差し押さえることはできません。

有給休暇に関する問い合わせは、Minnesota有給休暇 651-556-7777までご連絡いただくか当社のウェブサイトをご覧ください。

雇用主は雇用保護に違反していると思われる場合は、Minnesota労働産業省の労働基準局に連絡してください。



この情報は、障害のある方や言語支援が必要な方には有給休暇コンタクトセンター 651-556-7777または844-556-0444（無料）にお電話いただくことで、代替形式で提供可能です。

m MINNESOTA
PAID LEAVE